

経営協議会学外委員からのご意見に対する取組状況

平成27年度

分野	学外委員からのご意見等	ご意見を頂いた経営協議会	取組状況
第3期中期目標・中期計画(素案)について	<ul style="list-style-type: none"> 入学者選抜に関する計画は、大学側の取組だけではなく、地域の高等学校等との対話を通じて検討する必要がある。 ダブル・ディグリープログラムに関連して、国際連携学科等に係る設置基準では、ジョイント・ディグリーについても言及されているのでご確認いただきたい。 グローバル化に関して、国際総合科学部等の特定の学部だけでなく、既存の学部についても強く推進していく計画としてはいかがか。 国際総合科学部における文理融合の取組は非常に期待が持てるが、入試に関してはPRが不足しているのではないか。 新学部のデザイン思考の科目を他の学部でも取り入れるなど、山口大学としての特徴を打ち出していくことを考えていただきたい。 	平成27年6月17日	<p>中央教育審議会答申や高大接続改革会議の提言等の状況に留意しながら、山口県高等学校長協会との協議会等の機会に意見交換を行うなど、高大接続を考慮した入学者選抜方法の見直しの検討を進める予定である。</p> <p>国際水準の教育を提供するため、海外協定校との連携実績を踏まえ、ダブル・ディグリープログラム、ジョイント・ディグリープログラムの検討に着手している。</p> <p>グローバル化については、「明日の山口大学ビジョン2015」及び中期目標・中期計画において、全学的に日本人学生の海外留学及び外国人留学生の増加等、ダイバシティ・キャンパスの実現とグローバルリーダーの育成を目指している。</p> <p>国際総合科学部の入試志願倍率は、初年度は前期後期日程平均1.8倍であったが、平成28年度入試においては3.1倍に増加し、一層広報を強化していくこととしたい。また、本学は、文部科学省の「大学教育再生加速プログラム」に採択され、共通教育を中心としたアクティブ・ラーニングを全学的に推進している。</p>
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)について	<ul style="list-style-type: none"> 企業が地方に新しい事業所を作る場合、経済的条件と人材を迅速に集めることができるかという点が重要な要素である。現在伸びている分野がどのような人材を求めているかというニーズを教育に反映できるとよい。 大学の教員が学生と一緒に起業できるような取組を進めてはいかがか。 本事業では、地元志向を持った学生をいかに育成するかがポイントであるように思われる。山口県教育委員会では「やまぐち教育応援団」や「地域協育ネット」等の情報をweb上に公開しているので、参考にいただきたい。 	平成27年6月17日	<p>文部科学省の平成27年度「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に本学が中心となり申請し(事業名:やまぐち未来創生人材(YFL)育成・定着促進事業)、平成27年9月に採択された。</p> <p>事業期間は平成27年度～31年度の5年間で、県内12の高等教育機関、県及び県内全ての市町、経済関係団体、企業が事業共同機関として連携し、地域が求める人材を育成するために必要な教育プログラムの構築、自治体や企業等と協働し学生にとって魅力ある就職先の開拓・創出を事業目的としている。</p> <p>達成目標は、参加機関の学生の地元就職率10%向上、そのうち10%は起業等による新規雇用の創出の実現を掲げている。また、本事業内容は地方公共団体が策定する「まち・ひと・しごと総合戦略」にも反映されることとなっており、産・学・公が一体となって具体的な取組みを進めていくこととしている。</p>
国立大学法人を取り巻く状況について	<ul style="list-style-type: none"> 大学には研究の部分が期待されながら、一方で教員個人の研究費が減少し深刻な影響が出ていることを示す資料もあるとよいのではないか。 授業料等を考えると、一般的には私立大学より国立大学の方が有利なイメージがあり、国立大学の現状や努力している部分をもっと説明していくことが重要である。 	平成27年12月9日	<p>先般、経営協議会学外委員の皆様や県内の経済団体の皆様の連名により、地方国立大学の予算の充実を求める声明を發出いただくなどご支援をいただいているが、様々な機会を通じて、国立大学法人の運営費交付金削減の影響や地方国立大学学生の厳しい経済的状况等について説明していくこととしたい。平成27年6月には学長直下にIR(インスティテューショナル・リサーチ)室を設置し大学運営に必要なデータの収集等を行っている。</p>
寄附の獲得方策について	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税のように寄附をした方へ特典を用意してはいかがか。 他大学では海外にも目を向けて寄附を集めている。 	平成28年2月17日	<p>卒業生等への大学情報の発信とともに、寄附された方へ山口大学オリジナルのグッズ等を送付することなど、様々な企画の検討を進めている。</p> <p>現在8つの海外同窓会(中国北京、山東、上海、韓国、台湾、インドネシアジョグジャカルタ、パリ、マレーシア支部)を設立しているが、海外にいる卒業生等とのネットワークの強化、海外同窓会の組織化等を一層進めていくこととしている。</p>